

## 令和3年9月部長会議 会議録（要旨）

◇日 時 令和3年9月1日（水） 午前8時35分から午前9時40分まで

◇場 所 ウェブ会議

◇出席者 市長、副市長、教育長、上下水道事業管理者、総務部長、企画政策部長、財政部長、地域・市民生活部長、保健福祉部長、保健所長、こども未来部長、環境部長、商工観光部長、文化スポーツ振興部長、農林部長、建設部長、都市整備部長、会計局長、教育次長（行政及び教育）、上下水道局長、消防局長、議会事務局長、危機管理防災監、及び関係課職員

◇会議内容

### ＜市長あいさつ＞

- ・本日の部長会議は、新型コロナウイルス感染症の感染警戒レベルが「5」となっていることを踏まえ、ウェブ会議で行う。
- ・市議会9月定例会が9月2日から始まる。私の任期中、最後の定例会となるので、8年間の総仕上げとして、議会や市民の皆さんに、これまでの市政運営について、しっかりと説明していきたい。各部局長にも、一般質問の答弁や委員会審査などにおいて的確な対応をお願いしたい。
- ・私の任期中に道筋をつけておきたい事項を指示してある部局については、任期中にしっかりと対応をお願いする。
- ・新型コロナについては、デルタ株への置き換わりが進み、7月下旬から市内の感染者も急増した。職員は、これまで以上に気を引き締めて感染予防を行うこと。
- ・現在職員課で、職場勤務率の5割削減を目標に、テレワーク等の活用を呼びかけている。感染が拡大しても業務が継続できるよう、仕事のやり方を見直しながら、職場における密の回避をお願いしたい。
- ・感染拡大の影響で、多くの市のイベントが中止又は延期になっているほか、様々な面で市民生活に影響が出ている。イベント等が中止・延期となったことは大変残念だが、今は感染拡大を防ぐことを最優先としたい。
- ・市保健所では積極的疫学調査により感染の広がりをおさえ、現在の「第5波」もいずれば落ち着いてくるものと期待している。延期されたものも含めて、10月以降に予定されているイベント等については、感染状況が落ち着いたときに「反転攻勢」をかけられるよう、準備をお願いする。また、せっかく準備してきたイベント等の中止が続くと、職場の士気にも影響が出てくるので、各部局長は、率先して職場に元気を吹き込んで、職員のモチベーションを高めてほしい。
- ・秋といえば、「スポーツの秋」「芸術の秋」「読書の秋」「食欲の秋」など、様々な楽しみがあるので、自分に合った方法で気分をリフレッシュしながら、市民の期待に応える良い仕事をしてほしい。

### 1 報告事項

#### (1) 令和2年度指定管理者モニタリングの取りまとめ結果について（総務部）

標記事項について、総務部長から説明した。（資料1参照）

○質疑なし

### 2 協議事項

#### (1) 「長野市都市内分権基本方針」（素案）について（地域・市民生活部）

標記事項について、地域・市民生活部長から説明し、協議を行った。（資料2参照）

○質疑

〔副市長〕 期間については、終期設定はどのように考えているか。

〔地域・市民生活部長〕 終期は設けないが、毎年審議会等で御意見をいただきながら、進捗状況を管理したり、新たな課題などがあれば、見直したりすることを考えている。

〔副市長〕 終期を定めないというのはひとつの考え方ではあるが、誰がどのように判断して見直すのか、明確に決

めておく必要がある。

〔地域・市民生活部長〕 審議会や住民自治協議会の意見を聴きながらおおよその方向性は決めているが、細かなルールは追って決めていきたい。

〔財政部長〕 「地域いきいき運営交付金」については、令和5年度予算の概算要求までに見直して、対外的に説明できる明確な積算根拠を示していただきたい。

〔地域・市民生活部長〕 そのように進める。

〔こども未来部長〕 都市内分権の大前提となる「補完性の原理」に基づき、市と住民自治協議会との適切な役割分担を行った上で地域の課題を迅速に解決していくという観点から、「役割分担の見直し」についても、この基本方針の中に盛り込めないか。

〔地域・市民生活部長〕 各地区の住民自治協議会を訪問する中で、「自助・共助・公助」のうち「自助」と「共助」について、今までの役割分担では、もう住民だけではまかなえないという切実な声をいただいている。概要版に記載はないが、本編の「持続可能な住民活動に向けた支援」の項目に「役割分担の見直し」という言葉を入れてある。今後、この基本方針について全住民自治協議会に対して意見を求めるので、その意見も踏まえて、審議会に向けて最終的に案を整えていきたい。

〔企画政策部長〕 出された意見・指摘に対応しながら進めていただきたい。

#### ○今後の方向性

原案を了承。

### (2) 第三次住宅マスタープラン後期計画(案)のパブリックコメント実施について (建設部)

標記事項について、建設部長から説明し、協議を行った。(資料3参照)

#### ○質疑

〔副市長〕 以前の計画では、公営住宅の供給量を縮小する方向性が示されていたと思うが、今回の計画は、どちらかというとも供給について積極的な論調になっている。方針転換するのか。

〔建設部長〕 誤解を招く説明だったかもしれないが、方針転換ではない。第4章「住宅施策の展開」のテーマ2「住宅セーフティネットの充実による居住の安定確保」の中に、「適正な公営住宅の供給と更新」という項目がある。重点施策として、「公営住宅の整備による計画的な供給と安心居住の実現」を記載しており、民間による供給状況を踏まえ、公営住宅については「計画的に」供給していく方針である。この点について、前回の計画までは、より前向きに「供給推進」と書かれていた。

〔副市長〕 公共施設マネジメントの評価の中でも、本市は公営住宅が非常に多いという評価がされている。古いものはある程度集約化、高層化して、廃止した公営住宅の敷地は民間に売却して開発してもらおう方向が好ましい。計画にはそのようなニュアンスを含めてほしい。

〔建設部長〕 今回の計画に明記していきたい。

#### ○今後の方向性

原案を了承。

### (3) (仮称)ながのこども館整備事業について (都市整備部)

標記事項について、都市整備部長から説明し、協議を行った。(資料4参照)

#### ○質疑

〔副市長〕 「休憩室、授乳室やおむつ変えに対応した施設は無料化」とのことだが、入館は有料とする考え方がか。

〔都市整備部長〕 プロポーザルの中で、提案内容を見ながら検討してまいりたい。

〔副市長〕 逆に、入館料は無料とし、有料エリア又は有料の遊具等を定めるべきだと思う。それはプロポーザルの基本的な条件であるため、プロポーザルの仕様書を作るまでに決めて、あらかじめ参加者に示す必要がある。

〔市長〕 駐車場を有料化するので、入館は無料とし、特定のエリアや遊具等については有料とするよう、最初から

決めておくべきである。また、機械設備、電気設備、空調設備の設置場所を工夫すれば、維持管理経費の大幅削減につながるのではないか。さらに、魅力的な遊具を備えることにより、多くの利用者が集まり、安定的な収入を得られる施設となることを期待している。

〔財政部長〕料金設定にあたっては、受益者負担の原則を踏まえて検討していただきたい。また、財源については、地方拠点整備交付金を活用できるよう調整してほしい。仮に活用できなければ、事業規模を見直す必要もあると考えている。

〔都市整備部長〕承知した。ただし、有料部分の条件設定については、今後相談させていただきたい。現在の入館料収入を下回らない設定とする必要がある。

〔保健福祉部長〕もんぜんぷら座内にある「じゃん・けん・ぽん」と利用者層が重複する部分があると思うが、本事業により「じゃん・けん・ぽん」の利用者数への影響が出ることはないか。

〔都市整備部長〕利用者は「じゃん・けん・ぽん」とは重ならないと考えている。「じゃん・けん・ぽん」が未就園児対象であるのに対し、ながのこども館は、城山動物園との一体利用を想定しており、園児から小学校低学年までの子供のいるファミリー層がターゲットである。

〔こども未来部長〕両施設の利用者は異なり、住み分けできると考えている。「じゃん・けん・ぽん」は、未就園児の保護者の相談や情報交換の場としての役割が大きいですが、城山動物園やながのこども館は、週末に家族でリフレッシュする施設となることを期待している。

〔企画政策部長〕市長、副市長の指示を踏まえ、プロポーザルまでに細部を詰めていただきたい。

#### ○今後の方向性

原案を了承。

#### (4) 長野市立博物館分館 ミュゼ蔵の廃止について (教育委員会)

標記事項について、教育次長 (行政) から説明し、協議を行った。(資料5参照)

#### ○質疑なし

#### ○今後の方向性

原案を了承。

以上